益城町立益城中央小学校

2学期も残りわずかとなりました。今学期当初は、感染状況も厳しい中でのスタートでしたが、9月末頃からの感染拡大も少し落ち着き、そのような中で、各学年の行事も概ね計画通りに実施することができました。保護者の皆様には、ご理解・ご協力をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。3学期もよろしくお願いいたします。

頑張りました! 校内持久走大会

12月9日(金)は、校内持久走大会でした。晴天で風もない恵まれたコンディションの下、各学年の子供たちが自分の記録更新を目指して一生懸命取り組みました。例年ですと、町の駅伝大会に合わせて10月に実施していますが、今年もコロナのため町の大会が中止されましたので、より持久走の気候に適した12月に開催しました。

多くの子供たちは、体育の時間はもちろん、朝、登校した 後等にも練習するなど良く頑張っていました。当日は、沢山 の児童が自己ベストを出せていたようです。持久走は大変き つい運動ですが、その苦しさを乗り越え、最後まで頑張って 走る子供たちの姿を見てとても嬉しく感じました。



ご観覧・応援いただきました保護者の皆様に、心よりお礼申し上げます。

「読書のすすめ」

1学期に比べて良くなったと感じることの一つに、子供たちの「読書」への取組があります。今年度のめあて「笑顔で挨拶 元気に運動 家でも学習 読書のすすめ」の1つでもありますが、どの学年も1学期に比べ、図書室を利用する機会が増えて、貸し出し冊数が増加しています。

下の表は、各学年の2学期末までの目標冊数と11月時点の図書室の本の貸出冊数です。(1人当たり)貸出総数を学年の人数で割った計算上での数値で、実際に全ての児童が達成できているとは限りませんが、11月時点で1年から5年生はすでに達成し、6年生もあと2冊で目標達成というところまできています。

	1 年	2 年	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
2 学期末の目標冊数	40	40	30	30	20	20
11月までの貸出冊数	50	58	50	48	24	18

知識や視野を広げ、豊かな心を育むとともに、読解力の向上にもつながる読書活動が活発になってきていることは大変うれしいことです。

各職員も図書室へ連れて行く機会を増やしたり、学校全体で新刊を購入したり、また、1回の貸し出し 冊数を2冊にしたり、全校読書の時間やスタンプラリー形式による貸出特典を設けたりするなど、工夫した手立ても伸びにつながっているのだろうと思うところです。冬休みも沢山の本に親しんでほしいと思います。ご家庭でも、ノーメディアの取組と合わせて読書活動の一層の推進にご協力いただければ幸いです。

- ・たまにはテレビを消して、静かに宿題や読書をすることも良いと感じました。
- ・いつもより、どれだけテレビ視聴が減ったかは不明ですが、よく読書していました。